

平成 24 年度 坂出市教育委員会点検・評価報告書

平成 25 年 8 月 26 日・9 月 4 日

坂出市教育委員会

I. 目的及び制度の概要

教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行うものであり、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表するものです。

II. 点検・評価の方法

平成 24 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検・評価を実施いたしました。この点検・評価に際しては、学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「坂出市教育評価委員会」を平成 25 年 8 月 26 日・9 月 4 日に開催し、ご意見や助言をいただきました。

III. 教育委員会活動の概要

教育委員会制度の本来の意義、役割を果たすための運営改善と活性化が望まれる中、坂出市教育委員会では主体的で市民に信頼され開かれた教育委員会を目指し、平成 24 年度において以下の活動を行いました。

1. 委員構成

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 4 条第 4 項の規定により教育委員に保護者が含まれるようにすることが義務付けされ、現在の教育委員会は法定数の 5 名になっています。平成 23 年 1 月 1 日より、三好康弘委員が教育長に就任し、平成 24 年 6 月定例教育委員会において、澤井静芳氏を教育委員長に、國重昭郎氏を委員長職務代理者に再任しました。また、平成 24 年 9 月 28 日をもって國重昭郎氏と谷澤優花氏が任期満了となるにあたり、後任の教育委員として高尾正彦氏と中橋孝彦氏を任命するとともに、斉藤恵子氏を委員長職務代理者に選任しました。平成 25 年 3 月 31 日現在の委員構成は次のとおりです。

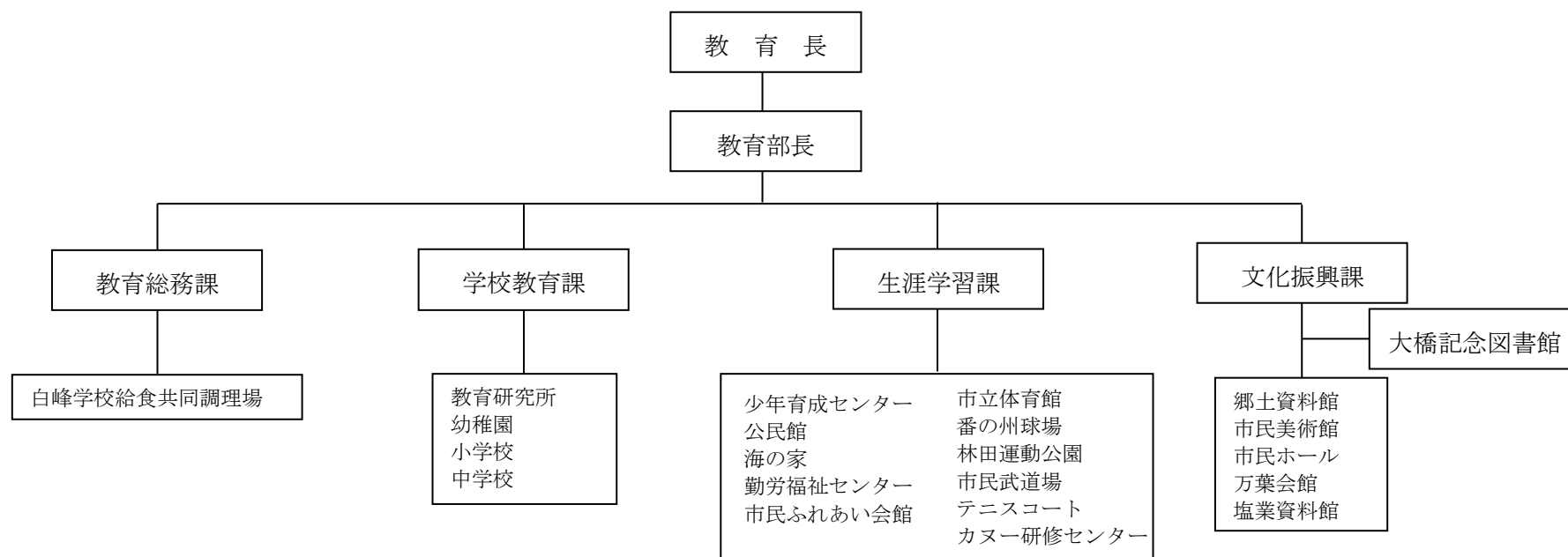
坂出市教育委員会

委員長	澤井 静芳
委員長職務代理者	斉藤 恵子
委員	高尾 正彦
委員	中橋 孝彦
教育長	三好 康弘

2. 教育委員会事務局の組織

多様化する教育行政の中で、迅速で効率的かつ実効性のある教育委員会事務局の運営を遂行していくため、平成24年4月1日の教育委員会機構改革により、組織改編が行われました。

複雑多様化する教育課題および組織規模の適正化などの組織上の課題に適切に対処するため、学校教育課を学校教育課と教育総務課に再編しました。また、社会教育課の社会教育部門と体育課を生涯学習課に集約し、社会教育課の文化財および文化振興部門と大橋記念図書館・美術館などの文化施設等を集約し、文化振興課としました。



3. 教育委員会会議の開催状況

会議は、原則として毎月1回定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しており、平成24年度は合計13回開催いたしました。

- ① 教育委員会定例会 12回開催 議案104件 報告36件
- ② 教育委員会臨時会 1回開催 議案1件

4. 教育委員会のその他の活動

① 学校訪問

市立幼稚園8園、小学校12校、中学校6校を対象として全て訪問することとしており、6月8日から11月14日の間で全ての校園を訪問しました。

実施月	訪問先
6月	府中小学校(8日)、松山小学校(12日)、東部中学校(13日)、川津幼稚園(22日)、坂出中学校(25日)、松山幼稚園(27日)、林田幼稚園(29日)
7月	坂出中央幼稚園(4日)、坂出小学校(11日)、林田小学校(13日)
9月	加茂幼稚園(12日)、西庄小学校(13日)、瀬居中学校・小学校(14日)、金山小学校(18日)、櫃石幼・小・中学校(19日)、東部小学校(20日)、瀬居幼稚園(21日)、川津小学校(25日)、岩黒小学校・中学校(27日)、府中幼稚園(28日)
10月	白峰中学校(24日)
11月	加茂小学校(14日)

② 香川縣市町教育委員会連絡協議会委員研修会

日時 10月12日 午後1時30分～4時40分

場所 アルファあなぶきホール 4階大会議室 (高松市)

出席者 委員2名・教育長

研修内容 ・学力の向上について

・講話「教育行政上の当面する課題について」文部科学省初等中等教育局教育課程課

③ 市長との懇談会

日 時 1月15日 午後1時30分～2時30分
場 所 本庁舎2階応接室
出席者 教育委員長・委員4名・教育長
懇談内容 平成25年度予算における市長への予算要望
意見書の提出

④ 視察研修

日 時 11月27日・28日
場 所 山口県防府市，広島県東広島市
出席者 教育委員長，委員2名，教育長，事務局職員1名
研修事項 防府市
・ 歴史史跡，文化財を活かした文化・芸術の振興について
東広島市
・ 「小中一貫教育・接続教育」について

⑤ その他教育委員が関わる活動

4月 年度当初校園長会議
5月～6月 幼・小中学校春季運動会
9月 幼・小中学校秋季運動会
10月 幼・小中学校秋季運動会，水のフェスティバル in 府中湖，教育功労者表彰
11月 まなとピアフェスティバル
1月 成人式，瀬戸大橋駅伝競走大会
3月 幼稚園卒園式，小中学校卒業式

IV. 事業評価と結果

次ページ以降に、第4次坂出市総合計画施策体系に基づく各課の主な事業における目的、概要および評価委員の評価を受けての今後の方向性を掲載しています。

●自己評価基準について

区分	評価内容
A	新たな施策を立ち上げ、良好な成果をあげることができた。 計画以上の成果が得られた。
B	概ね計画の目標は達成できた。
C	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く、具体的成果がなかった。

第4次坂出市総合計画施策体系

市の将来像

瀬戸内の交流拠点 活力とふれあいの坂出

まちづくりの基本目標

- 1 ともに担う ～競い合い、助け合うまちづくり～
- 2 ともに守る ～安全で安心なまちづくり～
- 3 ともに支える ～健康で、思いやりあふれるまちづくり～
- 4 ともに育む ～豊かな心と文化のまちづくり～

(1) 生涯学習の充実

- ①生涯学習の推進組織の充実 ②グループの育成とリーダーの養成
- ③生涯学習施設の整備 ④図書館活動の充実 ⑤健全な青少年の育成

(2) 学校教育の充実

- ①幼児教育の充実 ②幼児教育の環境づくり ③教育内容の充実 ④指導力の向上と指導体制の充実
- ⑤地域との連携強化 ⑥特別支援教育の充実 ⑦教育施設・設備の充実

(3) 人権・同和教育の推進

- ①学校教育における人権・同和教育の推進 ②社会教育における人権・同和教育の推進
- ③人権・同和教育指導者の育成

(4) 文化・スポーツの振興

- ①芸術・文化活動の振興 ②文化財を生かしたまちづくり ③スポーツの振興

(5) 国際交流の推進

- 5 ともに築く ～なごみとゆとりを感じるまちづくり～
- 6 ともに興す ～地域の特性と資源を生かしたまちづくり～

(1) 生涯学習の充実

① 生涯学習の推進組織の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
1	女性セミナー	生涯学習課	高齢化社会を迎える中で、長くなった人生を自分らしく豊かにいかに生きるかについて、学習する場を提供する。	「笑う門に健康来る」「共に生きる～助けあうってどういうこと～」 「一筋の道～菓子木型技と心のおもてなし～」 「歴史を学ぼう～源平合戦と讃岐の伝説」 ほか講演8回、現地学習2回	A	A	充実 参加者は年々増えており、参加者の期待を裏切らないよう今後とも努め、ますます充実させていく。
2	中央公民館市民講座	生涯学習課	生涯学習を充実させることによって、市民が学ぶ喜びを感じられるような場を提供する。	年間を前期と後期に分けて10講座を10週にわたり、週1回の割合で実施 (平成24年度実績 ふるさとの民謡490名 漢字書道659名 リトミック223名 女性料理441名 男性料理416名 ヨーガ279名 籐工芸205名 げんだい書283名 水墨画410名 山野草410名 計3,528名 前・後期各10回開催し、1講座50,000円の報酬 なお、男性 女性料理の講師助手には、40,000円の報酬を支出(講師との区別))	A	A	充実 中央公民館のイオンへの移転により受講生は増加している。新たな講座を追加するなど、今後も講座の充実を図っていく。

3	働く女性の家講座	生涯学習課	働く女性を対象に、女性のたしなみと教養など資質の向上を図ることを目的とした学習の場を提供する。	平成 24 年度実績 講座はハーブ 188 名 ちぎり絵 493 名 手編み 212 名 煎茶と 礼法 127 名 エアロビクス・ヨーガスト レッチ 764 名 カントリークラフト 179 名 着装とマナー134 名 英会話 207 名 フォークダンス 211 名 フラダンス 318 名の 10 講座で、前期と後期の延受講者数 2,833 名。 講師料 1 講座 50,000 円×20 講座	A	A	充実 受講生は年々増えており、 今後も講座を充実させてい く。
---	----------	-------	---	---	---	---	--

② グループの育成とリーダーの養成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己 評価	委員 評価	今後の方向性
4	婦人団体育成	生涯学習課	婦人団体連絡協議会の目的は、女性の教養を高め、生活の刷新をはかるとともに地域社会の発展と福祉を増進するとともに、あわせて会員相互の親睦を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 婦人団体指導者研修会 ・ 各校区における子どもやお年寄りの見守り ・ 生活文化展 ・ 市の行事の手伝い その他数多くのボランティア活動	A	A	充実 市最大の婦人団体であり、市の行事や研修会、また、市における協議会の代表として、幅広く活躍している。しかし、年々に会員数は減少しており、組織の育成支援を検討していく。

③ 生涯学習施設の整備

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己	委員	今後の方向性
----	-----	-----	------	------	----	----	--------

					評価	評価	
5	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	すべての人が図書館を利用しやすいように、施設の整備を行う。	施設全体の維持管理を行った。	B	B	充実 坂出市公共施設耐震化計画に基づく耐震診断により、総合的に施設の改修を検討する。図書館、美術館、郷土資料館等を含めた文教ゾーン施設一帯の整備計画を進めていく。

④ 図書館活動の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
6	資料収集事業	文化振興課 図書館	いつでも、どこでも、誰でもが、暮らしに役立つ様々な情報提供サービスを受けられるように網羅的に資料を収集する。	多様な資料を収集する活動として、坂出市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもたちの国際理解を深める取り組みとして世界の絵本を集めた「せかいのえほんコーナー」を新設した。	A	A	充実 多様な市民の要求に応えられるように図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理し、保存に努めていく。
7	情報提供事業	文化振興課 図書館	多様な資料を提供するなかで、本と人、人と人が出会うことで地域のコミュニティを活性化し、市民の行政参加を促進し、本を仲立ちにした子育て支援やまちづくりに役立つ地域の情報拠点づくりに努める。	様々な機関と連携して幅広い情報提供を行った。「せかいのえほんコーナー」を広く活用するため、香川県国際交流協会や四国学院大学と連携し、ネイティブによる外国語の絵本の読み聞かせに新たに取り組んだ。時事に関する特集コーナー等を設け、利用者が選びやすい資料展示	A	A	充実 地域の情報拠点として、関係機関と連携し、相互貸借等を活用するなど多様な市民の要求に応えるため、情報提供サービスの充実に努めていく。

				を行った。			
8	広報・啓発事業	文化振興課 図書館	図書館を知ってもらうための広報活動を行う。パネル展示や行事を開催し、読書活動の啓発につなげる。	新聞、テレビ、ラジオ等で図書館の広報に努めた。ボランティアと連携して行事を開催すると共に、ボランティアの資質向上のための養成講座を開催した。	A	A	充実 ホームページの充実を図り、市民にわかりやすい情報提供に努めていく。
9	子ども読書活動 推進事業	文化振興課 図書館	すべての子どもが、いつでも、どこでも本と接することができる環境整備を行う。行事を開催することで、子どもと本を結びつける。子どもの成長に関わる、様々な人や組織が連携して読書活動の推進に努める。	坂出市子ども読書活動推進計画に基づき、学校や関係機関と連携しながら、子どもの読書機会の提供、保護者への啓発活動を行った。子ども読書アンケートを実施し、その結果を広報で広く周知した。また、ボランティア活動と連携した「図書館まつり」を開催し、子どもの本との出会いづくりに努めた。	A	A	充実 ボランティア活動と連携した行事を充実するなど、市民参加の図書館運営に努めていく。
10	学校連携事業	文化振興課 図書館	学校及び公共図書館の効果的な資料の活用を図る。	坂出市住民生活に光をそそぐ交付金基金により、公共図書館と連携した学校図書館の機能強化支援及び司書教諭や担任と共同した学校図書館の活用に関する支援を行った。図書館で学校図書館支援員（いわゆる学校司書）3名を雇用し、小学校3校に派遣して授業支援等の実践活	B	A	充実 活動を全小学校に広げ、ネットワークによる相互貸借を活用した学習資料の有効活用と効率的な予算活用を進めていく。

				動を行い、子どもと読書を結ぶ支援活動を深めた。			
--	--	--	--	-------------------------	--	--	--

⑤ 健全な青少年の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
11	放課後子ども教室推進事業	教育総務課	小学校において、放課後や週末に小学校や地域の公民館などを活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設けるとともに、地域の方々の参画を得て、子どもたちと地域住民との交流活動の取り組みを実施することで、心豊かな育成環境づくりの推進を図る。	運営委員会において内容を検討し、小学校の全学年を対象とした「居場所づくり」として、金山地区で実施。	B	B	充実 この事業を行うためには、世話役のコーディネーターの協力が不可欠であることから、金山地区をモデルケースとして、他地区へ拡大するための人材発掘に努めていく。
12	放課後児童健全育成事業（仲よし教室）	教育総務課	昼間労働等により保護者が家庭にいない児童（小学校1～3年生）と、弟妹が仲よし教室に通う児童（小学校4年生）に対し、放課後等に適切な遊び・生活の場を確保することにより、児童の健全な育成と子育て支援の充実を図る。	昭和48年度、旧西部小学校に設置して以来、順次、設置校を拡大し、現在では、8校において11教室を開室している。 また、平成23年度からは、保護者のアンケート調査結果をもとに、利用時間を延長するとともに、受益と負担の在り方や他市の動向を総合的に勘案し、有料化	B	B	充実 坂出市子ども・子育て会議での議論や国の動向を注視するとともに、学校や福祉関係部署との連携強化に努めていく。

				した。			
13	わくわく！さかいでっこ探けん隊	生涯学習課	土曜日（休日）の過ごし方の一つとして、子どもたちと親に学習の場や共に汗を流す場を提供する。他の学校へ通う子どもたちとの出会いもあり、学校とはまた違う体験ができ、新たなものへの知識欲、人への思いやり、郷土愛など身につけることをねらいとする。	わくわく！科学教室，わくわく！おこづかいゲーム，工作教室，本島探検，夏休み工場見学，料理教室，パン教室，その他全 15 講座 (前期 5 回，夏休み 7 回，秋期 3 回)	A	A	充実 学校ではできない体験ができると思われる。今後も変化に富んだ講座内容を創意工夫していく。
14	坂出市成人式	生涯学習課	大人になったことを自覚し，自ら生きぬこうとする青年を祝い励ますとともに，青年が社会のために尽くそうとする考えを持ってもらうとの趣旨から成人式を行なう。	毎年成人の日に市民ホールにて開催。式は祭典と式典に分かれており，各地区から成人代表（12 名）が作り上げるはたちの祭典では，幼少期からのスライド映像と中学校時代の恩師からのメッセージを上映する。また式典では，市長・議長・国会議員・県会議員からのお祝いのことば，記念品贈呈，成人のことばなどを行う。	A	A	充実 各地区からの成人代表選出は難しい面もあるが，この体制を維持したい。

15	補導活動事業	生涯学習課	青少年の健全育成が図れるよう補導活動に努める。	補導員による街頭補導，地域補導等の活動を関係団体と連携・協力しながら青少年の非行防止と健全育成に努めた。	B	B	充実 補導員の協力による街頭補導を実施し，青少年の健全育成に意を注いでいく。
16	さかいでっこガイド隊	生涯学習課	ふるさと「さかいで」に愛着を持ち，自ら情報を発信できる「さかいでっこ」をめざす。今年度は「崇徳上皇」について学習し，坂出にたくさん残っているゆかりの地を回り，子どもたちの目線でツアーに訪れる人たちにガイドをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「沙弥島の史跡および柿本人麻呂・理源大師・中河与一」について勉強をする ・ガイドの台本を作る ・瀬戸内国際芸術祭などで「沙弥島ツアー」のガイドをする（9回） ・昨年に引き続き「崇徳上皇」ツアーガイド，およびツデーウォークでのガイド，また，県の広報番組などに出演をする（全8回） ・ガイド隊員 1，2期生合計 20人 	A	A	充実 学校ではなく社会教育の中で子どもたちの参加を募り，ガイド役をしていく。学校ではできない体験ができる，人が喜んでくれることを知ることができる。今後，自ら情報を発信できる「さかいでっこ」をめざし，緊張感をもって取り組んでいく。
17	子ども会育成	生涯学習課	少子化や地域社会のつながりの希薄化のなか，子ども会行事を通じて，地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶなど，楽しい子ども会行事を通じて，地域に愛着をもち，誇りに思う子どもの育成を行う。	地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ場を提供するとともに，地域の伝統行事などに子ども会活動を通じて参加する。 ゆめ活動委託料・花いっぱい運動委託料・市子連活動補助金・校区子ども会活動補助金・指導者講習会補助金・ふるさとの親子まつり補助金・ドッジボール大会補助金・わんぱくゲーム大会補助金	B	B	充実 加入率の低下が進むなか，従来の行事の見直しを図り，現状に即した子ども会運営を行い，魅力ある子ども会を目指していく。

(2) 学校教育の充実

① 幼稚園教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己 評価	委員 評価	今後の方向性
18	絵本に親しみ豊かな心をはぐくむ取組み (保育方法の改善と教員の資質向上)	学校教育課	幼児期から読書習慣を形成することで、生涯にわたっての学習の基盤となる主体性や想像力、知的好奇心や言葉による表現力を育む。	幼児の豊かな情操や言葉を育むために、指導計画の中に位置付け、絵本・図鑑・お話等に親しむことができるよう指導方法の改善に努める。	A	A	充実 絵本は豊かな情操や言葉を育むための大切な教材であるので、今後とも各園において絵本を補充し、充実させていく必要がある。

② 幼児教育の環境づくり

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己 評価	委員 評価	今後の方向性
19	幼児ふれあい茶道教室 (家庭や地域と連携した園づくり)	学校教育課	故大石キヨ子先生の遺志を受け、幼児が日本の伝統文化である茶道に親しみながら、茶道作法や情操を養う。	「幼児ふれあい茶道教室」として開催し、坂出市内の幼稚園5歳児が坂出市民ふれあい会館において、淡交会の指導による茶会を体験する。 各園において、地域の茶道の指導者を招き、茶道に親しむ機会をもつ。	A	A	充実 幼児や教師にとって日本の伝統文化を体験することのできる貴重な機会でもあることから、今後とも継承していく必要がある。また、一堂に会するためインフルエンザ対策が必要となってくる。

20	幼稚園評価の公表と保護者・地域との連携の工夫と改善 (家庭や地域と連携した園づくり)	学校教育課	保護者や地域との連携を図りながら、地域社会に開かれた信頼される園づくりに努める。教職員の自己評価や保護者や学校関係者評価委員による評価を活かし園経営の改善を行う。	教職員の自己評価や保護者アンケート (保育参観・運動会・生活発表会等について)での評価、学校関係者評価委員の評価や指導助言から、危機管理や環境整備・保育内容の改善を行う。 家庭や地域への通信(園便り・学級便り等)の発信方法や内容を工夫して、保護者・地域連携を密にする。	B	A	充実 学校関係者評価委員会の定着と機能強化をさらに図っていく。
21	子ども発達支援事業	学校教育課	幼児の健やかな成長や発達を促すとともに保護者が安心して子育てができるように、乳幼児期から就学までの健診や子育て相談の一環として学校教育課・こども課・けんこう課が連携して実施し、子育て支援の充実を図る。	①健診スタッフが坂出市内の幼稚園・保育所の4歳児学級を訪問し、一次健診(集団行動観察・個別健診・保護者面談)を行い、その結果について各園所と協議、報告を行う。 ②必要に応じて巡回相談や二次健診を実施する。保護者へ発達に応じた支援のアドバイスや子育て相談、関係機関等の紹介を行うとともに、園の保育環境や支援のフォローに努め、子育て環境の改善を図る。	A	A	充実 教育と医療が融合した坂出市の5歳児健診の充実をめざして、臨床心理士が派遣できる幼稚園(24年度は4園に派遣)を増やす等、充実を図る。

③ 教育内容の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
----	-----	-----	------	------	------	------	--------

22	心をはぐくむ講師派遣事業 (志をはぐくむ教育の充実)	学校教育課	社会の様々な分野で活躍している著名人を学校に招いて講演会を開くことで、児童生徒がその生き方に学び、具体的な自分の夢や志を考えるきっかけとする。	<p>市内5校に講師を派遣し、講演会を開いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東部中学校 平成24年11月27日 アテネパラリンピックメダリスト ・ 白峰中学校 平成24年10月20日 ソプラノ歌手 ・ 坂出小学校 平成24年11月5日 ソプラノ歌手(卒業生) ・ 東部小学校 平成24年9月27日 シドニーオリンピックメダリスト ・ 金山小学校 平成25年1月25日 サヌカイト奏者 	A	A	充実 派遣する学校をさらに拡大する。
23	「志をはぐくむ」読み物資料作成 (志をはぐくむ教育の充実)	学校教育課	「先人・偉人の生き方に学ぶ活動」を具現化するため、郷土の発展に貢献した人物の高い志を読み物資料として作成し、児童生徒に配付する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み物資料作成委員会開催 (年間7回：小中学校教員9名) <ul style="list-style-type: none"> ①久米栄左衛門(小1・2) ②杉田秀夫(小3・4) ③津島寿一(小5・6) ④久米栄左衛門(中) ・ 監修委員会開催 (年間4回：元教員等4名) ・ 編集委員会 (年間2回：小中学校管理職3名) ・ 読み物資料配付 (7月1日：市内小中学校全児童生徒) 	A	A	<p>充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度には各学年1話を配布する。 ・ 学校での活用を推奨する。 ・ 全9話を合冊にして各学年および大橋記念図書館に配布する。

				<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度第 2 回配本に向けて新たに 5 話作成 			
24	<p>さかいで算数・数学オリンピック (志をはぐくむ教育の充実)</p>	学校教育課	<p>①児童生徒の算数・数学に対する興味・関心を喚起し、学習意欲を高める。</p> <p>②活用する楽しさを体験し、思考力・表現力を高める。</p> <p>③主体的に学ぼうとする態度を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会開催 (年間 3 回：学識経験者、保護者、小中学校長会等) ・問題作成委員会開催 (年間 10 回：小中学校教員 15 名) ・オリンピック実施 (H24. 7. 22 勤労福祉センター) ・表彰式、解説の会 (H24. 8. 26 勤労福祉センター) 	A	A	<p>充実</p> <p>以下の 3 点での成果をふまえ今後の事業を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の算数・数学への関心の高まり。(参加者のアンケートにも充実感、達成感が書かれていた。) ・問題作成を通して、小中学校教員の連携の推進。 ・小中学校教員の算数・数学の指導改善。

25	学校給食事業	教育総務課	児童・生徒が身体的にも精神的にも大きく成長する大切な時期に、栄養のバランスのとれた学校給食を提供すること。	給食費の保護者負担の軽減を図るため、市内小中学校全てを対象としたスケールメリットを生かし、食材・燃料等の一括購入業務を行っている(公財)坂出市学校給食会に対し、補助金を交付している。また、調理員の退職に合わせて、調理業務の民間委託も進めている。	A	A	継続 学校給食会は、平成24年4月より公益財団法人としての運営を開始しており、今後も健全な運営が図れるよう補助を継続するとともに、給食場現場においては、異物混入防止などの給食の安全確保に努めていく。
----	--------	-------	---	--	---	---	--

④ 指導力の向上と指導体制の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
26	問題行動への対策 (人格形成と規範意識の涵養)	学校教育課	不登校、いじめ、暴力行為等の問題行動や虐待、体罰の未然防止や早期発見、早期解決を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、小中が連携して、児童生徒、保護者、教員の教育相談の充実を図ることで不登校を減少する。 いじめについては、定期的なアンケート実施と、教員による観察を強化し、未然防止に努める。 虐待については早期発見とともに、関係機関との連携を図った早期対応を図り、ケース会を開くなど、見守りを継続する。 	A	A	充実 校内研修の充実を図り、専門的な見地からの助言を受けることにより、家庭環境の改善および集団における人間関係の構築を推進するきめ細かな取り組みを行っていく。

27	魅力ある学校づくり調査研究事業	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 坂出中学校とその校区内の小学校が国研の委託を受け、新たな不登校の未然防止をめざし、「魅力ある学校」をつくるための連携を図った取組みを推進する。 ・ 児童生徒の意識調査の変容から取組みの成果とその課題を見出し、検証、改善を図る。 	<p>拠点校：坂出中学校，連携校：坂出小学校，金山小学校，川津小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画書提出（4月），意識調査（6月，11月） ・ 連絡協議会（東京）（4/25，2/15），ブロック協議会（米子）（10/25，26） ・ 小中連絡協議会（年間10回），調査研究委員会（年間3回） ・ 国研の学校訪問（7/2），4校合同研修会（8/22）， ・ 香川の教育づくり発表会（12/27），リーフレット作成，配付（1月） ・ 実績報告書提出（3月） 	A	A	<p>充実</p> <p>すべての児童生徒が参加できる授業づくりを目指して研究を継続する。</p>
28	教育研究所の研究・研修事業（信頼される学校づくり）	学校教育課	<p>新学習指導要領の理念に則し，教育研究所の部会ごとに理論・実践の両面から研究することで，本市の学校教育の充実・発展に，また，教職員の資質向上に資する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校人権・同和教育啓発資料作成部会 人権・同和教育資料「心」と「実践資料集」の改訂 ② 不登校・特別支援教育部会 フレンドシップ夏の集い，クリスマスの集い， 不登校対策教育支援センター「であいの部屋」「ふれあいの部屋」 ③ ICT活用部会 学校 Web ページによる積極的な情報発信 ④ 学校教育課題部会 	A	A	<p>充実</p> <p>研究内容を精選し，部会の再編も含めて見直していく。</p>

				<p>「坂出っ子ステップアップシート」作成</p> <p>⑤幼稚園教育部会</p> <p>不審者対応教材「いかのおすし」作成</p>			
29	<p>学校関係者評価委員会・学校経営支援委員会 (信頼される学校づくり)</p>	<p>学校教育課</p>	<p>各学校の学校評価（自己評価と学校関係者評価）について、専門的、客観的立場から評価し、指導・助言を行うことで、各校の学校運営の充実に資する。</p>	<p>各学校で管理職等による校内評価委員会は「自己評価書」を作成し、保護者および学校関係者からなる学校関係者評価委員会に提出する。</p> <p>学校関係者評価委員会での協議を基に学校が作成した「学校評価書」について、学校経営支援委員会を開き、学識経験者、保護者4名が第三者評価を行い、その助言・指導を各校の学校運営の充実に資する。</p>	B	B	<p>充実</p> <p>学校の取り組み状況を適切に公開することで、地域の学校に対する信頼をさらに高めるとともに、学校運営の活性化を図っていく。</p>

30	人的支援体制の充実	学校教育課	一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定と基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。	<p>①外国語指導助手 小学校外国語活動、中学校英語の授業にネイティブを指導助手として市内全小学校5、6年生全学級に月2h、市内全中学校全学級に月1h配置</p> <p>②生徒指導補助員 中学生の暴力行為の未然防止、早期発見・早期対応のために、3中学校に2名の生徒指導補助員を配置</p> <p>③不登校対策支援センター 坂出中学校に「ふれあいの部屋」、白峰中学校に「であいの部屋」を置き、職員を配置している。</p>	A	A	<p>充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの配置により、小学校の外国語活動、中学校の英語の授業が活性化している。 ・生徒指導補助員の配置により、中学校が安定している。継続配置する。 ・坂出中、白峰中以外の不登校の児童生徒に対する支援を充実させていく。
----	-----------	-------	---	---	---	---	--

⑤ 地域との連携強化

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
31	家庭・地域との連携と啓発	学校教育課	各学校園の教育活動や情報提供を広く保護者や地域に発信し、学校教育に対する理解・協力を得るとともに、地域の人材を学校教育に活用し、学習の深化、安全確保、環境整備等、学校教育の充実を図る。	<p>園や学校の実情に応じて、保護者や地域関係者の教育活動への参加協力依頼を積極的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育・授業参観 1日または半日のフリー参観を実施（全幼小中）、教育活動への保護者参加も工夫 ・地域ボランティア活用 読み聞かせ、ゲストティーチャー、見守り・パトロー 	B	B	<p>充実</p> <p>学校支援ボランティアの積極的な活用を推進するとともに、コーディネーターの委嘱を拡大する。</p>

				ル・交通指導等，環境整備など ・広報活動 学校だより，アンケート調査，ホームページ開設，メール配信			
--	--	--	--	--	--	--	--

⑥ 特別支援教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
32	特別支援教育支援員の拡充	学校教育課	一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い，学校生活の安定と基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。	・特別支援学級および通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対し，7幼稚園，8小学校，3中学校に27名の特別支援教育支援員を配置している。 ・研修を実施（小中年間3回，幼稚園4回）している。	A	A	充実 ・特別な支援を要する児童生徒は年を追うごとにその数が増加している。複数配置校を増やすなど，きめ細かに対応していきたい。 ・緊急雇用創出基金を活用した雇用者については，市費による雇用に切り替え，支援員の資質向上を図っていきたい。

⑦ 教育施設・設備の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己 評価	委員 評価	今後の方向性
33	教育用教材・図書・備品の充実	学校教育課	図書や楽器等，子どもが使用する教材教具の充実を図る。	①予算配分に応じて各学校で希望図書を購入 ②中学校で使用する楽器を整備 ③原子力やエネルギーの授業に必要な実験器具等の設備の整備	B	B	充実 学校現場に必要な備品等のさらなる充実を図っていききたい。
34	小児生活習慣病対策事業	学校教育課	近年，増加傾向にある小児期の肥満および肥満に起因する生活習慣病の早期発見および予防を目的とする。	市内市立小学校4年生全児童を対象に，小児生活習慣病予防健診の血液検査を実施し，当該検査結果を保護者および学校に通知することで児童の生活習慣の見直しおよび改善指導に結びつけてゆく。	B	B	充実 県補助を受け，県下大半の市町で実施されている事業である。本市においても毎年実施することで，児童の生活習慣病の予防および対策に大きな成果を果たしていくものと思われる。
35	幼・小・中学校施設整備事業（建設工事）	教育総務課	学校施設は，子ども達の活動の場であるとともに，災害時には地域住民の避難場所としての役割も担うことから，耐震化を図り安全性を確保する。また，近年の猛暑への対応のため，空調設備を設置し教育環境の充実を図る。	・新設統合小学校（坂出小）建設工事（～H24） ・校舎耐震補強工事（～H23） ・空調設備整備工事（普通教室，～H24） ・非構造部材耐震化工事（H24～）	B	B	充実 構造体の耐震化については，県下他市に先駆け，平成23年度末に耐震化率100%を達成した。今後は，外壁・天井材等の非構造部材の耐震化や，特別教室への空調設備整備にも積極的に取り組んでいく。

36	幼・小・中学校施設整備事業（維持修繕工事）	教育総務課	学校施設利用者（園児・児童・生徒・教職員）の安全で安心な環境の確保に努める。	<p>（小学校）</p> <p>ボイラー移設工事，浄化槽改修工事，防火シャッター改修工事等</p> <p>（中学校）</p> <p>プール修繕工事，体育館水銀灯取替工事，フェンス改修工事等</p> <p>（幼稚園）</p> <p>園舎屋上防水改修工事，門扉修繕工事，遊具修繕工事等</p>	B	B	<p>充実</p> <p>学校施設の安全・安心な環境を確保するためには，継続的な維持修繕が不可欠であることから，必要な予算確保に努めていく。</p>
37	私立学校振興事業	教育総務課	私立学校の教育条件の維持及び向上並びに私立学校に在学する幼児，児童，生徒又は学生に係る修学上の経済的負担の軽減を図るとともに，私立学校の経営の健全性を高め，もつて私立学校の健全な発達に資する。	坂出市内に私立学校を設置している学校法人真利学園（ルンビニ幼稚園）及び学校法人花岡学園（坂出第一高校，一高幼稚園）に対し，私立学校振興補助金を交付する。	A	A	<p>継続</p> <p>私立学校の経営の健全化と発展に寄与するため，適切な補助金執行に努めていく。</p>
38	幼・小・中学校運営費	教育総務課	幼・小・中学校の円滑な運営に資するため，必要な予算措置を行う。	幼・小・中学校の電気料金，水道料金等の光熱水費のほかに，消耗品，備品，設備の軽微な修繕等，学校運営に必要な経費を支出する。	A	A	<p>充実</p> <p>猛暑によるエアコンの使用や電気料金の値上げ等により，今後，光熱水費の増加が予想されるが，運営費は学校運営のために不可欠であることから，必要な予算確保に努めていく。</p>

39	教材・備品整備事業	教育総務課	小・中学校を対象に、授業等に必要な教材の充実を図る。	児童・生徒の教育効果を高め、基礎的・基本的な学習理解を助ける為に、標本や実験器具などの授業等に必要な教材の整備を行う。	A	A	充実 児童・生徒の学習環境の充実を図るため、小・中校長会とも協力して進めていく。
40	通学・通園助成事業	教育総務課	幼・小・中学校に通園学する園児・児童・生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減と利便性の向上を図る。	①白峰中学校通学用自動車運行業務委託（府中地区） ②白峰中学校通学用バス定期券交付（王越地区） ③松山小学校通学用自動車運行業務委託（王越地区）（1,2年） ④松山小学校通学用バス期券交付（王越地区）（3～6年） ⑤沙弥島児童生徒通学助成金 ⑥与島町児童生徒通学費補助金 ⑦坂出中央幼稚園通園用自動車運行業務委託（西部・中央・金山・西庄地区） ⑧与島町・岩黒園児通園費補助金	A	A	継続 遠方から通う園児・児童・生徒の安全な登下校の確保、保護者の経済的負担の軽減のために、今後も継続していく。

41	学校再編整備事業	教育総務課	次代を担う子ども達の教育効果を第一に考え、最適規模の学習集団を編成し、学校が学校として最大限の機能を発揮できる教育環境整備を図る。	平成 20 年 12 月に策定した坂出市学校再編整備計画に基づき、学校再編整備を推進する。 前期計画(概ね 5 年以内) ①西部・中央・沙弥・瀬居小学校の統合 ②坂出・瀬居・沙弥中学校の統合 ③松山・王越小学校の統合 後期計画(概ね 10 年以内) ①坂出中・東部中の統合	B	B	その他(地元との協議) 児童・生徒数の動向を調査するとともに、保護者や地域の方々の意向を聞くなかで、慎重に進めていく。
----	----------	-------	---	--	---	---	--

(3) 人権・同和教育の推進

① 学校教育における人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
42	私の考えを語る会 坂出市幼小中園児・児童・生徒の人権展覧会	学校教育課	①私の考えを語る会(昭和 56 年度～) 市内小中学校の児童・生徒の意見発表の機会を設け交流を図りつつ、人権尊重意識の高揚を目指すことを目的とする。 ②坂出市幼小中園児・児童・生徒の人権展覧会(昭和 50 年度～) 市内幼小中の園児・児童・生徒の人権展覧会を開催し、人権尊重教育の成果を示すことで人権尊重の市民	①身近な生活体験を通して、人権あるいは人間の生き方に関する意見を、児童生徒が 1 題 6 分以内で発表する。 ②「私の考えを語る会」の開催当日と「人権週間」に合わせて、市民ギャラリー「かもめ」において市内全幼小中および市内 4 高校(賛助)の、計 32 校園の作品を展示する。	A	A	継続 引き続き、両事業を抱き合わせて実施することにより、人権尊重の啓発活動として相乗効果が期待できる。

			啓発を図ることを目的とする。			
--	--	--	----------------	--	--	--

② 社会教育における人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己 評価	委員 評価	今後の方向性
43	人権学習講座	生涯学習課	人間の尊厳と人権の確立をめざして、家庭・学校教育をはじめとする いろいろ分野での人権問題を解決する 手立てを学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「部落問題のイメージ転換を求めて」 人権課主幹 高畠 優 ・「歴史の中の人権」 歴史研究家 上原 敏 ・「中学校における人権同和教育について」 白峰中学校長 滝井清悟 ・「国際化の現状と日本の教育について」 香川大学講師 宝山秀逸 	A	A	充実 PTA、婦人会などを対象 に年4回開催し、毎回50 人～60人の参加がある。 講演内容も充実している。 今後は人権課との共催とし て充実したい。

44	人権・同和教育だより PTA人権・同和教育研修会	学校教育課	①人権・同和教育だより 坂出綾歌ブロックにおける住民を対象に、人権意識の向上を目的として実施する。 ②PTA人権・同和教育研修会 PTAが中心となって人権・同和研修を企画し、保護者参観日に合わせて講演会・研修会を行うことで人権・同和教育に関する啓発を図ることを目的とする。	①坂出市・宇多津町・綾川町の1市2町の人権・同和教育担当者、教員等により内容および構成を検討する。本市においては、12月広報とともに全戸配布している。 ②各校年1回程度、PTAと学校が協力して保護者を対象とした研修会を企画・実施するために必要な講師料、用紙代、印刷費等を予算化し、執行している。	B	B	継続 両事業ともに市民に向けて人権尊重意識を高めることに寄与しているものであることから、今後も継続していく必要がある。ただし、PTA人権・同和教育研修会については、さらなる参加者の拡充を図っていきたい。
----	-----------------------------	-------	---	--	---	---	--

③ 人権・同和教育指導者の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
45	坂出市同和地区教育連絡協議会 幼小中人権・同和教育研修事業	学校教育課	①坂出市同和地区教育連絡協議会 同和地区における幼児・児童・生徒の教育水準の向上を図ることを目的とする。(昭和56年度～) ②幼小中人権・同和教育研修事業(昭和39年度～) 幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任その他の教職員を対象とし、人権・同和教育に関する研修を深めることを目的とする。	①同和地区における幼児・児童・生徒の学習活動の推進に関し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校が校種の垣根を越えて連携を図る。 ②幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任等を対象に年3回の現地研修、講演、授業・保育研究、各校園の情報交換等を実施する。	B	B	継続 両事業ともに同和地区における幼児・児童・生徒の教育水準の向上および教職員等の人権・同和教育研修等を図る目的の事業内容であり、今後とも継続の必要性の高い内容である。

(4) 文化・スポーツの振興

① 芸術・文化活動の振興

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己 評価	委員 評価	今後の方向性
46	まなとピアフェ スティバル	生涯学習課	生涯学習に関することや人づくり・まちづくりについて学習活動の発表を行う。	生涯学習を通して学んだことを発表するステージ発表・パネル展示等と生涯学習にふれる各種体験コーナー等を実施する。11月の第2週日曜日を中心に、坂出駅前ハナミズキ広場及び駅周辺・香風園及び周辺・ふれあい会館・中央公民館周辺・美術館・イオンホールで開催。	A	A	充実 生涯学習の発表の場として、多くの市民の参加があり、イベントの規模の割には事業費もかかってない。 現状を維持していく。
47	市民美術館企画 展事業	文化振興課 市民美術館	市民に質の高い芸術・文化に触れ合う機会を提供するとともに、いろいろな展覧会事業を通して、市民一人ひとりが豊かな創造力や感性を育み、心にゆとりと潤いを持ち、特色ある地域文化の創造が図れるよう、芸術文化の振興に努める。	平成24年度市民美術館企画展事業の7企画①昭和のさかいで展 ②ふしぎなたね展 ③書之美 IN SAKAIDE 2012 ④現代童画会香川展 ⑤世界の鳥の巣と絵本原画展 ⑥現代仏像彫刻展 ⑦さかいでのパッケージ展のほか、講師に彫刻家や作家を招いて開催する美術館ワークショップ、各種講座、出前授業など、主に子どもを対象とした企画や、展覧会に伴うイベント、美術館コンサート、絵本の読み聞かせ等も年間を通じて実施した。	A	A	充実 市民の方々に、いろいろな分野の企画展を開催するほか、特に子どもたちには、小さいうちから美術館に親しみ、質の高い、優れた芸術・文化を身近に感じることができるよう企画の充実に努め、豊かな感性の助長を図る。

48	万葉企画事業	文化振興課	万葉歌にも歌われた沙弥島を舞台に、市民の皆様へ古代の暮らしや煎茶を楽しんでいただき、柿本人麻呂が過ごした時代に思いをはせ、万葉の島 沙弥島に親しんでいただき、特色ある地域文化の保存、継承に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・万葉まつり、万葉茶会 地域の伝統文化や芸能等を発展させるため、万葉まつり、万葉茶会の万葉企画事業を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・万葉まつり及び歌がたりコンサート 坂出市市制施行 71 周年記念事業として「万葉うたがたりコンサート」を実施。柿本人麻呂が沙弥島で詠んだ歌をテーマとした楽曲を中心に、古代衣装をまとった「万葉歌がたり会」が歌唱・演奏した。	B	B	充実 例年ほぼ同じ内容の企画から、参加者が固定化傾向にあるなか、記念事業で実施したように企画内容を工夫し、周知の方法も検討しながら地域文化の保存、継承に努める必要がある。
49	坂出市文化協会等 育成事業	文化振興課	市制施行 70 周年として、坂出市に関係した歌、塩田作業歌などの民謡を聴く機会となる「瀬戸の海、浜おこし、唄おこし、坂出市民コンサート」を実施。	小学生による久米通賢顕彰歌、市歌の発表、民謡愛好家による塩田作業歌などの演奏や地元出身の音楽家によるコンサートを催した。	A	A	充実 好評につき、次回の開催を希望する声も多いが、入場料や寄付金での収支が整わない、人員が足りないなど課題が多いが、出演団体など調整も再考しながら、実施主体とも協議して継続していきたい。

② 文化財を生かしたまちづくり

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己 評価	委員 評価	今後の方向性
----	-----	-----	------	------	----------	----------	--------

50	坂出市内遺跡発掘調査事業	文化振興課	<p>坂出市内における遺跡の踏査，土木工事などに先立つ試掘調査および遺跡の範囲確認調査，また工事の際における現場での立会などを行い，貴重な埋蔵文化財を保護する。但し，本発掘調査は別事業である。</p>	<p>今年度は中世城館として記録されているものの内，4ヶ所を県教委とともに現地踏査し，実態のない3ヶ所の削除，1ヶ所の範囲縮小を行った。</p> <p>また，讃岐国府跡において確認調査を，川津西又遺跡，与島浦城遺跡（2件），沙弥島（遺跡近隣地），沙弥ナカンダ浜遺跡において工事立会を行い，いずれも埋蔵文化財に支障のないことを確認している。</p>	C	B	<p>充実</p> <p>大規模発掘調査が必要となった際の調査体制の充実といった課題は変化なく，今後とも県と協議を進めながら対応していく。</p> <p>単年の事業としては迅速な確認調査等により埋蔵文化財と開発行為の調整も十分に実施されており，今後とも迅速な対応を実施する。</p>
51	文化財保護管理活用事業	文化振興課	<p>坂出市内にある指定文化財周辺の管理（主に草刈り）を行うことや，看板を設置すること，市内の文化財所有者や保護団体に，保存，管理，活用に必要な費用を補助することを通じ，貴重な文化財の保護活用に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定文化財周辺除草（千人塚，ササユリ等） ・ 文化財周辺の環境整備（内裏泉渡り橋改修） ・ 文化財看板設置（加茂文化財案内板改修） ・ 指定文化財の保存，管理，活用に対する補助 	B	B	<p>充実</p> <p>指定文化財の除草や環境整備について，所有者や管理者を通じて適切な管理を行うとともに，老朽化する説明板や標示の改修を進め，文化財の周知に努める。</p>

52	第3回国府サミット in さかいで	文化振興課	市制施行 70 周年事業として「国府サミット」を開催し、国府所在自治体が、古代日本の中心である「国府」の所在地として共通の志をもって共に発展するとともに、市民と坂出の魅力を共有し合うことで、郷土意識の醸成とまちの活性化を図る。	・サミット開催 1 日目 サミット・記念講演・パネルディスカッション 2 日目 国府域散策・香川県埋蔵文化財センター見学	A	A	継続 本市での国府サミットの開催がなされ、実行委員会もその役割を終えたが、翌年 2 月に国府跡の中心施設と考えられる遺構が発見され、多くの方々から、貴重な文化遺産の保存活用が望まれている。 今後は史跡指定に向け、また国府の保存活用も含めた検討会を開き、国府サミットの基調講演であった、埋もれた文化遺産の活用を実現していきたい。
----	-------------------	-------	---	--	---	---	---

③ スポーツの振興

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
53	市内三校高等学校 野球定期戦大会	生涯学習課	青少年たちの持つ無限の可能性と協調の精神を養い、野球スポーツを計画的・継続的に実践し、それによって青少年の健全育成と体力の向上に努める。	市内の高等学校 3 校（坂出高校・坂出商業高校・坂出工業高校）による硬式野球リーグ戦大会を実施する。	B	B	継続 伝統の大会であることから、今後も大会を継続することにより、市内 3 校の体力や競技力向上はもとより、最終的には坂出市内の高校より甲子園出場を果た

							し、坂出市の知名度のアップも図る。
54	スポーツ推進委員研修	生涯学習課	社会的信望があり、スポーツに対する深い関心と理解を持ち、地域住民のスポーツ活動に対するニーズの高度化・多様化に対してスポーツ振興施策の企画立案に参画するとともに、住民との身近な立場からスポーツ振興施策の推進を図る。	坂出市スポーツ推進委員研修：4月22日（日）・7月8日（日）（教育会館等） 香川県スポーツ推進委員研修：6月10日（日）（香川総合体育館） 四国スポーツ推進委員研修：1月19日（土）・20日（日）（高知県） 全国スポーツ推進委員研修：11月29日（木）・30日（金）（長崎県）	A	A	充実 今後も継続的に研修会に参加し、研修で身に付けたノウハウを各地域住民へ還元し、スポーツの振興並びに地域コミュニティーの構築を図る。
55	坂出市体育協会	生涯学習課	坂出市における生涯スポーツ及びスポーツ文化の発展と活力のある地域社会づくりに努めることを目的とし、市民一人ひとりがスポーツ文化を豊かに享受する「生涯スポーツ社会」の実現を目指すことに資する。	市内29の競技団体と12地区の体育会への助成とスポーツ競技・レクリエーションの24大会への委託事業によりスポーツ・レクリエーションの普及・振興を目指す。	A	A	充実 今後も助成及び委託を継続し、スポーツやレクリエーションの普及・振興並びに健康増進を図る。

56	第 23 回坂出市瀬戸大橋駅伝競走大会	生涯学習課	マラソン王国「坂出」の復活と市民相互の親睦と地域の活性化並びに地区内の親睦と団結を図るため、毎年新春に実施し生涯スポーツの普及・振興に寄与している。	坂出市立体育館から瀬居町までの折り返し、10区間の20.541kmコースを舞台とした地区対抗の駅伝競走大会。	A	A	充実 今後も大会を継続することにより、スポーツの普及・振興や親睦、交流を図ることはもとより、地域コミュニティの構築や健康増進を図る。
57	総合型地域スポーツクラブ設立支援事業	生涯学習課	国のスポーツ振興基本計画に沿った、生涯スポーツ社会の実現を図るため、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの支援を行う。	アウトドアスポーツの「歩く」と、インドアスポーツの「カローリング」を中心とした行事を行っている。五色台クリーンハイキングやカローリング交流大会など。	A	A	充実 今後も、幅広い世代の方々にスポーツに触れる機会を与え、楽しんでもらうと共に、健康増進を図る。 行事を継続するとともに、クラブの自立に向けた支援を維持して行く。
58	2012 カヌースプリント海外派遣選手第二次選考会、2012 カヌースプリントジュニア海外派遣選手第二次選考会 (兼) 第 22 回府中湖カヌーレガッタ	生涯学習課	第 48 回国民体育大会開催を契機として、カヌー競技の普及と振興を図るため、全国から選手を迎え、府中湖において競技大会を開催し、スポーツ文化の高揚につとめる。	1000m競技 男子 500m競技 女子 200m競技 男子 女子(パラカヌー) 200m競技 男子 女子 ジュニア種目 1000m男子 500m男子 女子	A	A	充実 今後も全国大会を継続し、カヌー競技の人口拡大や競技力向上とともに、坂出市への観光誘致を図る。